

KSKP
No. 7

パンジー

発行 1994年6月



だより
のほかに

編集 クリエイティブハウス
“パンジー”

地域に根づくパンジー祭を

クリエイティブハウス「パンジー」がオープンしてはや一年たちました。そしてだれもが一年間かけておたがいのことを理解しあえるような関係を少しずつ築きあげてきました。

4月から新たに三人の通所生と二人の職員が加わって新しい関係を作ってゆくこととなります。前からパンジーにいる人にとっては、“いったいどんな人が来るんだろうか”という期待と興味、新しく来る人にとっては“パンジーってどんな所なんだろうか、いったいどんな人たちがいるんだろうか”という期待と不安の両方の気持ちがあったと思います。

そんな新しく入ったメンバーがパンジーになじみだした、4月30日にパンジー祭を開催しました。当日はとても天気がよくて少し動けば汗ばむほどでした。バザーやフランクフルト・肉まん・いなり・ジュース・焼めしなどの販売をしたり、カメラマンの未来さんが1年かけて撮影してきたパンジーのメンバーの写真をパネルにして軽作業室一面にはりだしました。

その日は外でバザーをしていたので、バザーにはお客さんが来ても、なかなかパンジーの建物の中にまでお客さんが入って来ず、外はにぎやかで中は静かという感じになったり、お客さんの人数も最初期待したより少なかったりもしました。それでも、みんなのペースがゆったりしていて、フランクフルトや肉まんを食べたり、なじみのガイドヘルパーさんといっぱい話をしたり、パンジーのホールでカラオケをしたりと自分の時間をしっかりともち、楽しんで過ごしていたと思います。新メンバーもみんなの中において、違和感やしんどさもみられず、パンジーに対してある程度の安心感ももってきているんだなと感じました。

来年はもっと多くの人に声をかけてたくさんのお客さんにきてもらいたい、そして、より多くの人にパンジーのことを知ってもらい「東鴻池にパンジーあり」と、地域に根づいていけると嬉しいなあと思います。 (きた)

パン屋の窓から

初夏の日差しを素肌に感じる今日この頃、みなさんいかがお過ごしでしょうか。パン屋では天窓のガラス越しの太陽が、私たちの頭のうずまきあたり



に汗をかかせ始めたら、「もうすぐ夏やなあ…」と話に花が咲きます。

つい先頃、昨年に次いでパン作りひとすじ40年の伊藤康三先生をお呼びしました。日本の色々な所でパンの作り方を伝えている伊藤先生は60歳を越えているとはとても思え

ないほど元気。みんなでパンジーのパンをおいしくしようと取り組む中で、パンとのつき合い方はもちろん、人とのつきあい方までも伝えてくれたようです。パンジーのメンバーの中で実に居心地よさそうにパンを作る先生の姿を見ていると、人がその場その人その空気になじんでいる時間を共有するのって、これまた心地よいなあと思いました。人にとってもパンにとっても心地いい空間をみんなで一緒に創り出していく、そんなパンジーでありたいなと思います。

(にっちゃん)

軽作業の窓から



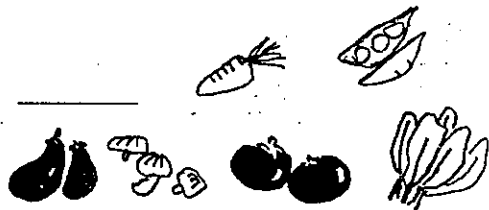
こんにちわ。軽作業部門です。作業室の大きな窓から色とりどりの花が見える季節になりました。その花にも負けず、作業室のなかも色とりどりになっています。というのも一時休止していた、さおり織りが再開され、その糸が棚の上を華やかにしているのです。

まず、始めるにあたって、さおり織りの店を営んでおられる吉田さんに来ていただいて、いろいろお話をききました。話のなかで「さおりを織った本人にしか織れない、おもしろい物ができる」というのがあったのですが、本当にそのとおりで、できてくる作品を見ると、その人にしかできない色づかい、織り方になっています。世界でたったひとつのさおりの作品です。

近い将来、作業室の棚をさおり織りでかざってアトリエのようにできたらいいな・・・と夢みている毎日です。

(はま)

好奇心と楽天性を道連れに —— 厨房から ——



最近友達に会うと「よく続くしてるね（厨房の仕事）」と言われます。

1年前、ボランティアの延長の気分で気軽に引き受け、子連れでフルタイムで働く意味（しんどさ）を真剣に考えないままスタートし、それでも、緊張の日々を重ねていくうち、厨房が昼ごはんを作る場だけではなく、みんなにとって重要なウエイトを占める所だとわかり、それに応えるためには軽々しい気持ちでは出来ないと反省と自覚をするようになりました。

新しい年が明けて早々、材料を配達してくれていたM商店が新装工事のため突然店じまいになりました。配達する人手がなく、なかなか代替りの店が見つからず、結局、毎朝、2軒の店を回ってその日の材料を仕入れてパンジーに来るというハプニングやら、2月以来の米騒動やら、すったもんだの1年でした。

励まして下さったり、ご心配いただいた方々に心よりお礼申し上げますと共に、これからも好奇心と楽天性を道連れに2年目の厨房に挑戦してゆこうと思っています。
(河野)

グループホームのなかまたち

もっとかいごしゃをふやしたい 麻窪ムネツ



5時にグループホームに帰ってきます。あさ、7時におきます。ごはんはいつもありますが、ときどきからいときがあります。かいごしゃは、よくしゃべる人もいますが、あまりしゃべらない人もいます。

もっと、これからもっとかいごしゃをふやしていきたいとおもいます。
これからも、グループホームを続けていきたいと思えます。

パンジーに関わる人々

パンジーの仲間たちとリクリエーションに参加して

河野 朗子

私は3回くらいガイドヘルパーとしてパンジーの人たちとのリクリエーションに参加しました。一番最近では梅田のスカイビルでした。M君と行動を共にしました。彼はとても温厚でやさしい男性で、ヘルパーというより友達として楽しみました。でも人数の調整上、彼一人だけヘルプする訳にもいかず、いつも5～6人のグループで行動しました。

若江岩田駅から京橋駅に出たとき思いがけないことがおきました。京橋駅にいるはずのないA君がなぜか京橋駅にいる。“予定では違う場所のはずだ！”。訳がわからずあわてましたが、結局、一緒に行動することにしました。パンジーの仲間は基本的に自由奔放な人が多く、周りの人を驚かせるのが得意。彼等と一緒にいるといつもハプニングがおきて、飽きることがない・・・が、いつもハラハラドキドキの連続だなあと思いました。こうなれば、彼等と一緒にハプニングを楽しむという発想の転換が必要だと思いました。「何でもござれ」と胸を張って言えるくらいの“肝っ玉母さん”になれたらいいのになあと思いました。



ごめいふくをお祈りいたします

去る5月20日、大西幹子（おおにし もとこ）さんがなくなられました。44才でした。大西さんはとても親しみやすい、独特の関西弁と優しさをもった人でした。大西さんが、みずからすすんでカンパに行ったこと、パン屋で包丁をもちながら、「わて、うまいことようきらんで～」とゲラゲラ笑っていたこと、さおり織りをとてもセンスよく織っていたこと……。

だいすきだった大西さんはもういませんが、彼女がパンジーに残してくれたあの笑い声と、明るさをずっとおぼえておきたいと思えます。



がくしゅうコーナー 「障害」って、なァ〜んだ(最終回)
 常識からまぬがれた価値観で、地球を社会を見直そう!

by 牧口いちじ

第二次世界大戦で多くの子どもたちが両親を失いました。子どもは1人では生きていけないので、あちこちに孤児院が作られました。その頃のある孤児院の話です。

子どもは1人では生きていけない、と書きましたが、結構子どもたちはたくましくて、焼け跡をうろつきながら、スリやかっぱらいをして飢えをしのぎながら生きていた子どもたちもいっぱいいたそうです。

でも、「スリは放っとけない」ってわけで、警官が追い回し、捕まえては孤児院へ連れてゆきます。「園長さん、こいつは手くせが悪くて、スリやかっぱらいの常習犯ですから、おたくでも気をつけてください」と警官が言うと、その園長は「おうおう、スリやかっぱらいまでして生きのびてくれたのか、つらかったらう。偉かったなあ、もう安心だよ」と、子どもを歓迎したそうです。前回「悪い」について書いたので、その時、ふと思い出したこのエピソードは、ぜひ紹介したくなったのです。

ところで、子どもや障害者は1人で生きられない、ということで「一人前」には扱ってくれません。では、どんな人が「一人前」なのでしょう。今の世は「単純なもの」より「複雑なもの」を高度で秀れていると考えています。動物や植物より人間の方が偉いと思いこんでいます。こうした価値観で生きている人を「一人前」と言うのでしょうか。それらの人は人間がいちばん偉いと思うから平気で自然を破壊し、地球環境を勝手気ままに汚染していくのではないですか？ 高度な文明とはそうやって自分の首を締めているのです。

皮肉なことに、子どもや障害者は世間から一人前扱いをされなかった分だけ現代社会の価値基準(常識・通常・普通・標準・平均……)を汚染しないで生きています。だから地域社会で一緒に生きなくていい、という消極的な生き方を選ぶのではなくて、今だからこそ、変な常識からまぬがれたが故に見えてきた価値観(「単純さ」の値打ち、マイナスの価値など)で、地球を、社会を救ってやらなければならないようです。

もうぼつぼつ、「一人前」の考え方を1人の能力の問題にしないで、1歳の赤ちゃんも小学4年生も障害者も(それぞれの個性差も認めあって)、1人ひとり、その時どきが一人前なのだ、という「人権」として捉えた方が、ほんとの人間らしい社会になると思います。

(おわり)



4 がつ 16 にち どんらえもんかい ほうこく



いくたさんに きく

ききて：ばんじーまつりの ことについて はなしたよね。

いくた：どういうみせを やりたいか はなしたけど むつかしくて たいへん やった。

ききて：なにが いちばん たいへんやった？

いくた：ぼくのはなしを きいてくれへんひとが おって それで なかなか きまらんかったんや。

ききて：そやけど ふらんくふるとや やきめしの えをみて きめていたよね。

いくた：あれは ぼくも たいへん うれしかった。

ききて：これから どんな はなしを していくつもり？

いくた：なつりのりょうこうのことを はなしてみたい。

ききて：どうもありがとう。



ばんじーまつりでかんじたこと

あさくぼさんに きく

ききて：ばんじーまつり どうやった？

あさくぼ：いろんなひとが きてくれて うれしかった。 こどもが きていた んやけど ひじょうにかわいくて……。おまつりやったら あと もう うちよつと こどもらがのめる じゅーすとか おかしとか そうい うのあったら ええなと おもった。

ききて：ほかに かんじたこと あった？

あさくぼ：おきやくさんが ちよつと すくなかったので みんな ばんじーま つりのこと しらんのかなと おもった。

ききて：ほかに なにかかんじた？

あさくぼ：らいねんは もっと がんばりたい。

ききて：どんなことを がんばりたい？

あさくぼ：あてもんが あったら ええ。なんが こどもらが たいくつそうに してたから……。

いらっしやいませ

富田妙子

フランクフルトと肉まん、ぜんぶ売れた。ぜんざい売れてた。楽しかった。フランクフルトと肉まんがぜんぶ売れてうれしかった。

人、買いにきてくれて、平石はフランクフルト買わんと肉まん2つ食べて、皮かたいやつまで食べやった。

「お客さんいらっしやいませ ♪ フランクフルト ♪ 肉まん ♪ ぜんざい ♪ おいしいよ ♪ ほっぺたおちそうー」と森下くんと言うた。ゆきめさんと大声出した。肉まんとかきめしを食べた。おいしかった。

みどりさんと写とった写真を買った。きれいに写とった。未来さんがとったやつな。

来年はたこやきがしたい。お客さんがいっぱい来てくれたらいいな。やきそばもしたいな。売れると思うな。

来年も「いらっしやいませ、ありがとうございます！ また買ってください」とがんばりますね。



玉子とお便りありがとうございます

大分県から、宅急便が届いた。箱を開けてビックリ、玉子がギッシリつまっている——数えたら216個。送り主は、大分県の「卵花舎」で丹精こめて玉子を作っている大谷ねこさん。ねこさんの手紙に、前号の二文字さんの講演会の感想に対する意見があったので紹介します。

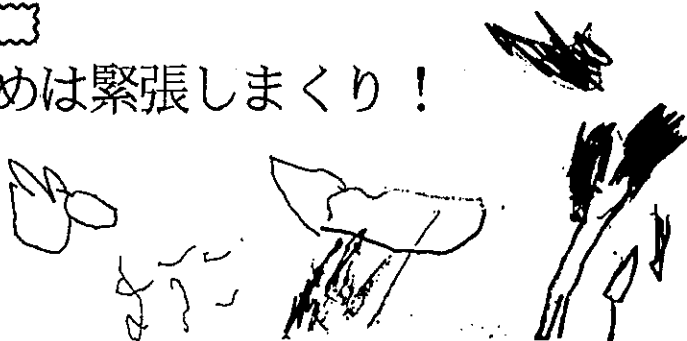
「『知的障害者に最高のものを』というのは理念としてはわかるけれど、『障害のない者には最高のものがあたらぬのか』という不平等感をあおるのと、『最高』という価値観が漠然としすぎていてわたしにはピンときませんでした」。

ねこさんの玉子、持つとずっしり重くて、黄身が堅くてつやつや。味がなんといってもおいしい！ 最高の玉子を作り続けているねこさん、障害者も健常者も、わたしも、自分にとって最高のものを持てるようになれるといいな。(よしだ)

ガイドヘルパー物語

それはもう、初めは緊張しまくり！

泉 理恵



パンジーのみなさんこんにちは。私は今までパンジーの活動に8回ほど参加しました。パンジーに来るようになったきっかけは、海遊館へ行く時に「一緒に行こうよ」とガイドヘルパーの桐原さんに誘われたからです。

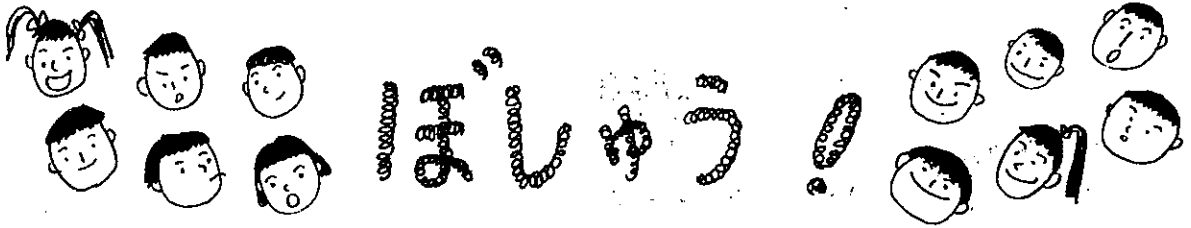
それはもう、初めは緊張しまくりでした。その時のペアの人は、河野陽子さんでした。陽子さんは車いすに乗っていて、私は、電車の乗り降り、エスカレーター、特に階段の昇り降りなど、事故があってはいけないという責任が重大なので、本当に緊張しました。でも、一緒だった桐原さんと協力して、周りの人の助言、助力もあって、なんとか無事に過ごすことができました。それにしても陽子さんの方は、不慣れな私たちのために、きっと、ハラハラドキドキしたんだろうなと思います。

帰ってからの反省会で、陽子さんが感想として「あまりよく見れなかった」というようなことを言いました。それを聞いてはじめて、自分のペースで行ってしまってたんだと気づきました。会話でのコミュニケーションがとりにくい人や、あまり自分の意志を主張できにくい人などに対して、こちらがきっとこれでいいだろうと思い込んでいたことでも、相手の人はほんとに満足していないということもあって、常にその人の気持ちを察することは大切だけれど、なかなか難しいなあと反省をしました。

だけどこのはじめての参加で、なんといっても印象的だったのは、初対面の人を何の警戒心もなく受け入れてくれるような陽子さんの笑顔、そしてパンジーのみんなの人なつつこさでした。

あれから何回か参加して、毎月の活動がとても楽しみで、行くたびにいろいろな人との出会いや交流が深まるのがうれしいし、私自身教わること、気づかされるのがとても多いです。

これからもガイドヘルパーとして何をしたらいいのか、その人その人にどう接し、何を援助したらいいのか、自分なりに考えつつ他のガイドヘルパーのみなさんを見習いながら、まだまだ戸惑ったり失敗の多い私ですが、続けていきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いします。



バンジーのガイドヘルパー活動がスタートして、はや一年以上がたちました。これまでに色々な場所へ行ったこと、色々なタイプのヘルパーさんと過ごした時間の楽しさは、メンバーの顔をみているだけでわかります。年齢、性別、経験を問わず、どんな方でも「やってみようかな」と思われる方は、バンジーへご連絡下さい。バンジーのメンバーは出会いを楽しみにしています。

□■□■□■□ 予 定 □■□■□■□

- 6月 4日 (土) ……外出活動
- 7月 29～30日 (金～土) ……夏の旅行(神戸しあわせの村)
- 8月 6日 (土) ……外出活動
- 9月 4日 (日) ……元気シティ東大阪フェスティバル参加
- 10月 1日 (土) ……合同スポーツ大会
- 11月 5日 (土) ……外出活動
- 12月 3日 (土) ……忘年会&クリスマスプレゼント買物



インフォメーション

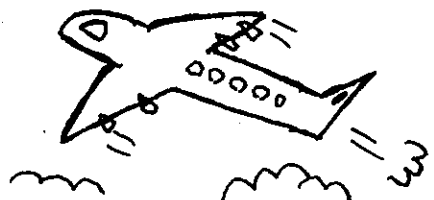
6月と7月に知的障害を持つ人たちの当事者主体の会議があります。アメリカの会議は、あと10名くらい空きがあるそうです(5月17日現在)。

★知的障害者をめぐる新しい風 ピープルファーストの本を出す会

- 日時 6月4日(土)・5日(日)
- 場所 東京国立スポーツセンター
- 内容
 - ・キャピタル・ピープル・ファースト『遅れを助長する環境』の訳
 - ・アメリカの知的障害者の具体例について考える
 - ・当事者が仲間に呼びかける

★アメリカのセルフアドボカシー会議

- 知的障害者が自分で主張する全米会議
- 日時 7月14日(木)～21日(木)
- 場所 アメリカ、ワシントン



書き損じハガキ、切手を待っています!

ご家庭や会社などで、年賀状の残り、書き損じたままのハガキ、貼ったままでスタンプを押していない切手など眠っていませんか?

自立生活部門ではこれらを集めて活動資金に充てたいと思っています。引き出しの片隅から、ご協力をお願いします。

御協力ありがとうございます。

《カンパ 寄付金をいただいた方です》(敬称を略させていただきます)

- | | | | | | | |
|------|------|-------|------|-------|------|------|
| 岩山直功 | 田中 誠 | 北川かおり | 望月佳一 | 木村多加緒 | 安井有子 | 押川 寛 |
| 宮川和久 | 桑野真澄 | 高田八寿男 | 黒川淳子 | 森田早百合 | 篠岡 豊 | 松岡寿久 |
| 杉浦永茂 | 西川直広 | 西久保哲司 | 大塚雅裕 | 惣宇利康善 | 中筋克子 | 長石裕子 |
| 登 信之 | 矢中吏美 | 拝志富美栄 | 堀嘉太郎 | 安藤由紀 | 笠谷哲男 | 宮崎康博 |
| 橘 由子 | 山田久男 | 胡井寛一郎 | 西川朋生 | 大手晴雄 | 谷口每子 | 中村三郎 |
| 渡辺 登 | 藤原武己 | 米田光彦 | 矢島 洋 | 三島丈夫 | 辻川利司 | 萩原稔 |

《後援会員になっていた方です》 アトリエ・ホロニカ

中林 恵子 墳下 千里

《書き損じハガキを送っていただいた方です》

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 西山セツ子 | 墳下 千里 | 大畑むつみ | 京極 義影 | 山田美津江 |
| 滝川 信明 | 甲田 恭子 | 柳 久子 | 本田 清二 | 麻窪 克樹 |

郵便事情などで、お名前の漏れていらっしゃる方がありましたら、申し訳ありませんが、パンジーまでご連絡下さい。

バザーで以下のとおり収益がありました。ご協力ありがとうございました

パンジー祭	96,091円	
ふれあい祭	95,290円	
		<u>合計 191,381円</u>

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8	発行人 関西障害者定期刊行物協会
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818	大阪市城東区東中浜2-10-1-3
“パンジー” FAX:0729-63-8825	緑橋グリーンソウルフ・アド企画気付

一九八四年八月二十日 第三種郵便物認可 毎日発行 領価250円